

財団だより

<第 76 号>

特 別 号

一般財団法人 全国強制抑留者協会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2
九段第二勲業ビル2階
TEL 03-3261-6565 FAX 03-3261-6548

シベリア抑留関係者の皆様へ

◆慰霊訪問（墓参）参加案内◆

一般財団法人 全国強制抑留者協会

会長 山田 秀三

令和四年度旧ソ連領並びにモンゴル領慰霊訪問（シベリア墓参）並びに埋葬地調査を次ページ要領で実施致します。

全国強制抑留者協会では平成二年以降令和元年まで毎年ロシア極東、シベリア、アルタイ、カザフスタンをはじめとした旧ソ連の中央アジアやモンゴルへ慰霊訪問団を派遣して参りました。

しかしながら、コロナ感染症拡大の影響を受けまして令和二、三年度は二年続けて慰霊訪問団の派遣を中止致しました。令和四年度はロシアのウクライナ侵略による現況に鑑み、ロシアへの慰霊訪問を中止しまして、ウズベキスタン並びにモンゴル二国への慰霊訪問を実施する予定です。

顧みますと、譬えようのない、あの極寒のロシアの地、飢餓の収容所、極めて非人道的重労働で六万人超のあたら若い命が失われました。一途に故郷を思い、最愛の家族に会える日を夢見て耐えに耐えた困窮の生活の中、遂に祖国の地を踏むことなく無念の死を遂げられ、今なお荒野に眠る多くの戦友を思うとき断腸の思いです。

令和四年度こそ、限られた地域ではありますが、シベリア抑留関係者の方と共に現地を訪れ、ご冥福をお祈りしたいと思います。

全国強制抑留者協会は、旧ソ連並びにモンゴル（シベリア）抑留の史実を多くの皆様にお伝えし、このようなことが二度と起こらないようにと抑留体験者が語ってまいりましたが、しかしながら、七十七年前と同じ状況がウクライナ各地で繰り返されています。ロシア政府に対して、直ちに蛮行を止め、ウクライナからロシア軍を即時、撤退するよう強く求めます。

埋葬（冥福）



奈良県大和高田市 吉田 勇氏 画

慰霊訪問（令和元年エラブガ班）



エラブガ慰霊碑

シベリア抑留関係者の皆様へ

令和4年度はウズベキスタン並びにモンゴル慰霊訪問(墓参)を実施いたします。

主催

一般財団法人全国強制抑留者協会

後援

総務省大臣官房総務課管理室

ご参加希望の方は、訪問地、住所、氏名、電話番号を明記の上、ハガキもしくはメールにてお申し込み下さい。参加案内書をご送付いたします。

申込先 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2
一般財団法人 全国強制抑留者協会
電話 03-3261-6565
e-mail:yoshida@zaidan-zenyokukyo.com

実施概要

- 参加資格：ご参加は原則として、訪問希望地に抑留された関係者です。
ご家族、ご遺族の方も参加いただけます。
- 構 成：訪問希望地により班(約10名程度)を編成いたします。
【催行人員】6名以上の参加をもって実施いたします。
- 実施期間：令和4年9月上旬から10月下旬の間(予定)
※訪問日程は、訪問地・班編成により異なりますが概ね8日間を予定しています。
- 申込締切：モンゴル班 : 令和4年8月5日(金)必着
ウズベキスタン班：令和4年9月2日(金)必着

※慰霊訪問については、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況や現地の社会情勢等を考慮して、中止となる場合があります。

※沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、サバイカリエ地方(旧チタ州)、イルクーツク州、タタールスタン共和国、カザフスタン共和国については、現地の情勢を踏まえ、慰霊訪問を当面見合わせることにしています。



タシケント市内日本人墓地



タシケント ナボイ劇場の碑文

慰霊訪問国の概況について

モンゴルの日本人抑留者

1945年8月23日、ソ連は労働力獲得のため、中国東北地方や樺太や朝鮮に居留していた約60万人の日本人（軍人のみならず民間人や女性もいた）をシベリアへ連行しました。抑留者約60万人のうち約14,000人がモンゴルに抑留されました。極寒の環境下で建築などの強制労働を強いられて約2,000人が亡くなりました。抑留者の眠る墓がウランバートル市やスフバートル市にあります。

ウズベキスタンの日本人抑留者

第二次世界大戦終結後、ソ連軍に抑留された日本人約25,000人が極東から当時のソ連ウズベク共和国にも移送され、各地で強制労働に従事させられました。過酷な労働により抑留中になくなった方は約900人のほり、ウズベキスタン各地の日本人墓地に埋葬されています。

訪 問 国	訪問予定都市	実施時期	実施期間
モンゴル	ウランバートル ダルハン アルタンボラッグ	9月上旬	8日間
ウズベキスタン	タシケント アンデルジャン フェルガナ コーカンド アン	10月中・下旬	8日間

令和四年度 実施事業ならびに予定（四月～九月）

一・シベリア抑留関係地方展示会

愛知県支部 八月九日～八月十四日 愛知県名古屋博物館

石川県支部 八月二十六日～八月二十八日 石川県金沢市文化ホール

三重県支部 九月二十三日～九月二十五日 三重県津市アストプラザ

二・シベリア抑留体験の労苦を語り継ぐ集い

福岡県支部 六月二十七日（終了） 小倉リーセントホテル

愛知県支部 八月七日 愛知県名古屋博物館

石川県支部 八月二十七日 石川県金沢市文化ホール

岩手県支部 九月十日 岩手県盛岡市上田公民館

三重県支部 九月二十四日 三重県津市アストプラザ

愛媛県支部 九月二十五日 愛媛県松山市県民文化会館別館

三・戦後強制抑留者慰霊祭

中央慰霊祭 十月十三日 東京都千代田区都市センターホテル

三重県支部 四月二日（終了） 三重県津市久居慰霊碑前

長野県支部 四月十五日（終了） 長野県伊佐市春日公園内慰霊碑前

愛媛県支部 五月十四日（終了） 愛媛県松山市万葉苑

愛知県支部 五月二十九日（終了） 愛知県名古屋古屋市桜華会館

岐阜県支部 六月十一日（終了） 岐阜県土岐市仲森公園慰霊碑前

熊本県支部 八月九日 熊本県合志市慰霊碑前

新潟県支部 八月九日 新潟県新潟市護国神社慰霊碑前

埼玉県支部 八月十六日 東京都千代田区千鳥ヶ淵墓苑慰霊碑前

北海道支部 八月二十一日 北海道札幌市真駒内滝野霊園慰霊碑前

岩手県支部 九月十日 岩手県盛岡市上田公民館

富山県支部 九月十一日 富山県高岡市慰霊碑前

支部紹介

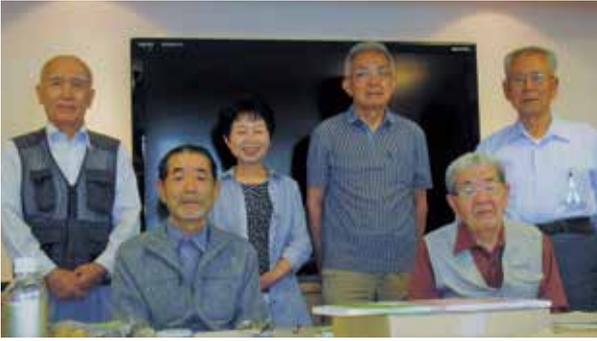
石川県支部

【組織】

発足は平成元年三月一日で、今年で三十三年になります。当時会員は千二百名。活動部隊も県内各地区に多数の方が活動していました。年月と共に、少数の遺児世代だけで頑張っているというのが現状の弱小支部です。

【本年度の活動】

展示会と語り継ぐ集いは、毎年欠かさず県内各地を廻って開催しています。問題は石川県支部に語り継いでくださる抑留体験者がいなくなった事です。今年も三重県から九十九歳の方をお迎えしてお話を頂く予定です。



慰霊祭は例年通り活動部隊だけで行いますが、来年は慰霊碑建立三十年の節目の年。記念事業の企画も視野に入れていきます。「故事来歴編纂誌の作成」支部長から、石川県支部の三十三年

のあゆみを出版したいと提案があり全員で編集作業に取り掛かることになりました。過去の事を全く知らない者ばかりで四苦八苦しています。それでも完成の暁には、必ずいいことがある！と信じて現在頑張っています。

【課題】

何と言っても支部の会員増加です。NHKのヒューマン・エイジという番組で、ネアンデルタール人が消滅して、私達ホモサピエンスが生き残った理由が、「集団脳」にあるという興味深い話をしていました。ネアンデルタール人は家族単位の小集団で暮らし、道具が進化しなかつた為消滅。ホモサピエンスは大集団で知恵を出し合い、数々の道具を生み出したので、今も地球上で繁栄を続けていると言っています。

私達の支部も小さな集団です。危機感には常に胸の内にあります。本部と全国の支部を合わせれば大集団になって、知恵を出し合うことができます。事実やっています。

中央慰霊祭前の会議では、素晴らしいアイデアを沢山頂いています。「財団だより」の支部紹介でも、支部の活動の様子はとても参考になります。刺激を受け、やる気も出てきます。石川県支部では皆さんからの知恵を頂いて、会員増加を目標に頑張っています。いづれアイデアでお返しできる日が来ると信じています。

石川県支部事務局 山村三知子

寄付金募集に関してのお礼とご報告 … 令和4年3月31日

日頃より一般財団法人全国強制抑留者協会の活動に対しまして多大なご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の寄付金につきましては、本協会の貴重な財源として、慰籍事業ならびに慰霊事業に役立たせていただきます。

引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和3年度(4月1日～令和4年3月31日)

お振込み…22件 283,000円 現金書留・現金…8件 713,000円

合計件数…30件 996,000円

寄付の方法

● 銀行振込でのご送金

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店
普通預金口座 0730329

● 現金でのご送金

〒102-0073
東京都千代田区九段北1-8-2
九段第二勸業ビル2階
一般財団法人 全国強制抑留者協会